

平成27年度

事業計画書

公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団

平成27年度 公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団事業計画目次

1、	基本方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2、	公益事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3、	施設管理事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4、	収益事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5、	法人事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
6、	平成27年度事業計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	5

# 1 基本方針

文化芸術を楽しむ、育む心は、市民の個性と魅力を高め、心や暮らし、さらには、まち全体を元気にする活力として、地域の文化力が注目されています。

これまで、育まれてきた「すずか文化」が持つ文化力を一層高めるため、市民の文化に対する意識を高め、民間の力を活かし、一人ひとりが気軽に活動できる環境を創り、次代の担い手である子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を創り、文化が受け継がれていくことをひとつの目標にして事業を展開していきます。主な事業団事業は、市の文化施設・市内関連施設を活用して、音楽や演劇等、観て感動する機会を提供する「市民シアター事業」、学ぶ楽しさや、参加し発表する楽しさを知っていただくための体験機会を提供する「文化工房事業」、市等から文化振興の目的で委託を受け、主に市民の発表の場として実施する「受託事業」、これらの実施事業を周知するために行う「広報事業」で構成していきます。

これら事業の企画実施にあたっては、主に文化芸術に関し学識を有している評議員・理事・監事からの意見聴取をはじめ、事業実施後のアンケート等により、市民ニーズの把握に努めていきます。また、文化芸術の振興を目的としていることから、クラシック音楽や演劇等、採算がとりにくく民間では開催されにくいものまで、多彩なジャンル構成を行い、同時に質の高い事業の選定実施に努めていきます。さらに、市民の実行委員会、市内事業所との協働や地元出身アーティストの協力を仰ぎ、鈴鹿から発信するオリジナル企画等、主体的な市民文化活動の振興に繋げていきます。

## 2 公益事業

### (1) 市民シアター事業

優れた文化芸術に接する機会を拡げ、市民の文化的感性のレベルアップを図るため、幅広い年代層を意識した多彩なジャンル構成で公演を行います。

また、より多くの方にご来場いただけるよう、行政や財団法人地域創造・公益財団法人岡田文化財団等が公募する助成事業の活用も行い、できるだけチケット価格を安価に設定していきます。

#### (ア) 音楽公演

クラシックや吹奏楽、軽音楽など、幅広く実施し、一流アーティストや地元出身アーティストの演奏を聴くことで、技術レベルの向上や音楽

への関心を高める、あるいは人々を元気にし、次の世代を育てるなど、音楽の持つ力により文化振興を図る事業として取り組みます。

#### (イ) 演劇公演

経費がかかり採算がとりにくい演劇は、自主事業として敬遠されがちで観る機会が少ない事業です。総合芸術である演劇こそ市民に体験していただきたいため、一人でも多くの人たちに観ていただけるよう、市民による実行委員会と協働で積極的にアピールして取り組みます。

#### (ロ) 伝統芸能公演

狂言や落語など日本の伝統芸能の公演を積極的に開催していきます。

#### (ハ) 子ども向け公演

次世代を担う子供たちが、子どもの時期から芸術文化に触れる機会を作るため、親子で来場しやすい公演を開催していきます。

#### (ニ) その他公演

文化団体等が開催する公演の共催による支援やプロモーターとの共催による公演誘致等を行い、市民シアター事業を充実していきます。

### (2) 文化工房事業

文化活動の促進と学習機会の拡充、そして何より学ぶ楽しさ、学んだ喜びを感じていただけるように、テーマ設定を工夫しながらセミナーを開設していきます。また、自ら表現する喜びを知っていただくため、ワークショップを開催していきます。

#### (ア) セミナー

文化見識者による文芸学科、体験型文化サロン、美術セミナー、大学との連携によるライフセミナーなどを新鮮なテーマ設定を工夫しながら事業を行っていきます。また、家でも学習できるように、地元のケーブルテレビ局と協力し、放送セミナーを開催していきます。

#### (イ) ワークショップ

一般市民やキッズ参加のゴスペルワークショップは、参加者がプロの指導を受けながら、自ら歌う喜び、体で表現する喜びを体験することで、心が解放されパワー溢れるステージを創りあげていきます。発表本番で

はプロとの共演も見ごたえがあるものとなり、参加者にとっても貴重な体験の場となっています。ゴスペルではワークショップ体験者が自分たちでゴスペルグループを作って活動を開始するなどワークショップの開催効果が表れてきています。また昨年度に続き、学校等アウトリーチ事業の実施を予定しており、未来のアーティストを育てるきっかけづくりの創出を図っていきます。

### (3) 受託事業

市民の発表の場として、鈴鹿市から委託を受け、「鈴鹿市美術展」、「鈴鹿市文芸賞」を開催していきます。また、音楽の街鈴鹿として、「鈴鹿の街音楽祭」、「吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿」を開催し、地域市民が中心となり、たくさんのジャンルの方が出演するコンサートを開催していきます。

#### (ア) 鈴鹿市美術展

市民の美術作品発表の場として、6部門（日本画、洋画、彫刻、美術工芸、写真、書道）で作品を募集し、有識者による公開審査を行い、それぞれの部で、市長賞等各賞を決定していきます。市内企業や事業所の協賛による賞もいただき、入賞作品は文化週間に開催する展覧会で展示し、多くの市民の皆様にご覧いただきます。

#### (イ) 鈴鹿市文芸賞

一般の部とジュニアの部で、小説など各ジャンルに分けて募集し、有識者による審査を行い、それぞれの部で最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定します。作品を掲載した冊子も作成し公表していきます。

#### (ウ) 鈴鹿の街音楽祭

音楽が盛んな鈴鹿市ならではの音楽イベントとして、地域市民が中心となり、合唱や、クラシック、吹奏楽、軽音楽等たくさんのジャンルの方が出演する市民参加のコンサートを開催します。街のどこに行っても音楽が奏でられている、人々が自由な雰囲気文化活動を行っている、そんな鈴鹿の街のイメージに向けて、音楽祭を開催していきます。

#### (エ) 吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿

吹奏楽の盛んな鈴鹿市に、学校の吹奏楽部を中心としたフェステ

ィバルを開催していきます。

#### (4) 広報事業

文化情報誌「けやき」を発行し、実施事業を周知するため、市が毎月発行している「広報すずか」への折込や、ポスターなどを県内の主要公共施設等への掲示をお願いします。また、情報の迅速さや、市外への情報提供も行えるように、スマートフォン対応のホームページの活用など、広く情報発信を行っていきます。

### 3 施設管理事業

市民の文化活動の振興を図るため、市の施設（江島カルチャーセンター）を管理運営しておりましたが、平成27年4月1日から、鈴鹿市立図書館で管理運営を行うため施設管理事業は終了いたします。なお、今後、市の文化施設の指定管理公募時には積極的に参加していきます。また、指定管理に対応できるよう準備を進めていきます。

### 4 収益事業

平成26年1月28日に収益事業が行える認可を三重県知事から受けましたことから、自動販売機の設置や売店事業、地元出身アーティストのCD等や書籍の販売を行う手法の研究や検討を行います。

なお、事業団の主な収益は、入場料、参加料等収入、市補助金、事業受託料、助成金等を財源としています。

### 5 法人事業

理事会、評議員会の開催、処務、会計、人事管理などを行います。行政庁への諸書類の報告などを行います。

平成27年度鈴鹿市文化振興事業団事業計画

事業	ジャンル	名称	アーティスト/講師/テーマ等	開催日時	開催場所
市民シ アター 事業	クラシック系	高嶋ちさ子みんなのための音楽室～室内楽編～「音の宝石箱」	バイオリニストの高嶋ちさ子とピアニストの清塚信也そして、チェリスト(未定)を迎えての室内楽編。クラシックコンサートながら、トークも楽しめる人気のコンサート。	H28年 2月6日(土)	鈴鹿市民会館
		スイーツ&カフェ コンサートVol. 5～	市内の洋菓子店等のスイーツを味わい、コンサートを楽しんでいただく、オリジナル企画。	H28年3月	鈴鹿市文化会館
軽音楽系	Jポップコンサート	すずかJAZZvol.3	江藤良人(ドラム)、山下真理(ヴィブラフォン)、中村好江(トランペット)それぞれ、メンバーも増強したバンドで登場、鈴鹿の夏を盛り上げます。鈴鹿が生んだ3人のジャズミュージシャン、同じジャズでも、スタイルが違う3人。その3人が同じ舞台上で、セッションと合わせ、今回は、山下、中村両名の母校、玉垣小学校金管バンドクラブとの共演も見逃せません。	7月11日 (土)	鈴鹿市文化会館
		調整中	調整中	9月	鈴鹿市民会館
		コンチネンタルファミリー ウィズ鈴ゴス クリスマス コンサート	一般公募のワークショップ参加者とプロのゴスペルグループとの共演。ワークショップを経てコンチネンタルファミリーと同じ舞台上立つ。	12月19日 (土)	鈴鹿市文化会館
他 音楽	ブラネタリウム ワンコイン コンサート	ブラネタリウムで星空を観ながら、生の演奏を楽しんでいただくコンサート。ジャンルは限定しない。	2回程度	鈴鹿市文化会館	
落語・古典芸能	野村萬齋 狂言の現在2015	狂言界のトップスター野村萬齋の狂言公演。野村萬齋の軽妙なトークで、狂言の楽しみ方、みどころをわかりやすく解説。4年連続公演。	5月22日 (金)	鈴鹿市文化会館	
		第11回けやき寄席 桂米朝一門会	第11回目を迎える今回のけやき寄席は、上方落語、桂米朝一門を迎えます。伝統文化の継承だけでなく、落語を生で聞く楽しみを味わっていただきます。出演は、桂南光、桂米團治、桂南天、桂米紫、桂團治郎。	5月16日 (土)	鈴鹿市文化会館
演劇	朗読劇「この子たちの夏」 1945・ヒロシマ ナガサキ	唯一の被爆国である日本。日本人としての経験を記録でなく記憶に留めたいと、構成・演出の木村光一氏が遺稿や手記、詩歌など膨大な資料の中から、テーマを「母と子」に絞り朗読劇としてまとめたのが本作品です。	8月2日(日)	鈴鹿市文化会館	
子ども向け	セントラル愛知交響楽団 ファミリーコンサート ゼー んぶジブリ!!	セントラル愛知交響楽団による、宮崎駿の映画音楽をお届けするご家族で楽しめるコンサートです。開演前に楽団員と一緒に紙の楽器を作成し、コンサートの終盤で、会場と舞台が一体となって演奏します。岐阜県のサラマンカホール、(公財)かすがい市民文化財団との連携事業。	6月27日 (土)	鈴鹿市文化会館	
<b>共催事業</b>					
クラシック	トロンボーン・カルテットジ バング三重特別演奏会 (共催事業)	NHK交響楽団トロンボーン奏者の・川武典 <small>(よしかわたけのり)</small> 、読売日本交響楽団首席トロンボーン奏者の菜田 晃 <small>(くわたあきら)</small> 、日本フィルハーモニー交響楽団副主席トロンボーン奏者の岸良開城 <small>(きしらはるき)</small> 、新日本フィルハーモニー交響楽団バス・トロンボーン奏者の門脇賀智志 <small>(かどわかちし)</small> という、日本を代表するトロンボーン奏者による5年振りの演奏会。(公財)三重県文化振興事業団との共催事業。	4月18日 (土)	鈴鹿市文化会館	
合唱	合唱フェスティバルin鈴鹿	鈴鹿混声合唱団、鈴鹿女声コーラス等鈴鹿市内合唱団によるクリスマスコンサート(実行委員会)。	12月13日 (日)	鈴鹿市民会館	
ミュージカル	第10回白子高校創作ミュー ジカル「大黒屋光太夫」	10回目を迎える白子高校吹奏楽部による大黒屋光太夫のすべて創作によるミュージカル。	平成28年2 月	鈴鹿市民会館	
	他共催事業		交渉後随時		

文化工 房事業	文化セミナー	鈴鹿市民大学文芸学科	テーマ:戦後70年記念～戦後ルネッサンスの主役たち～(6回シリーズ) (鈴鹿市文芸賞選考委員等による文芸講座)	5月～11月 第2水曜日	鈴鹿市文化会館
		文化サロン	文化や歴史を学び、実際に体験していただく講座です。コーヒー講座ほか。	随時3回程度	
		美術セミナー	県立美術館友の会との共催による美術講座。美術展期間中開催。	1回	鈴鹿市文化会館
		放送セミナー	ケーブルネット鈴鹿との特別共同番組制作。本年度は鈴鹿市を加え、彫刻家、中村晋也の番組を2回に分けて放映。	2本	
	ワークショップ	ゴスペルワークショップ(鈴 ゴス クリスマスコンサート と連動)	コンチネンタルファミリーの北出・北郡講師によるゴスペルワークショップ。プロから本格的なゴスペルを学び、クリスマスコンサート本番を目指す(10年目)。	10月～12月 計4回	鈴鹿市文化会館
		アウトリーチ事業	地域交流事業。普段、プロの演奏に触れる機会の少ない子どもたちや地域の方に、プロのアーティストが直接出向き、間近で演奏を体験していただき。コンサートにつなげる。	調整中	学校等
広報事業	ホームページの活用及び情報誌、共通経費		ホームページ(スマートフォン対応)、情報誌によるイベント告知、文化情報の発信等。	通年	
市受託 事業	第48回鈴鹿市美術展		鈴鹿市民の美術作品のコンクール及び展覧会。	10月～11月	鈴鹿市文化会館
	第24回鈴鹿市文芸賞		鈴鹿市民の文芸作品のコンクール及び作品集の発行。	6月～3月	
	音楽の街事業	鈴鹿の街音楽祭	鈴鹿市の『文化振興ビジョン』の提言のもと開催。音楽活動を行っている市民や学校の子どもたちで作る市民参加の音楽イベント。	11月16日 (日)	鈴鹿市文化会館
		吹奏楽フェスティバルin鈴 鹿2015	鈴鹿市の『文化振興ビジョン』の提言のもと開催。吹奏楽の盛んな鈴鹿市で市内小・中・高校を中心としたフェスティバル。出演:白子高校他。	12月12日 (土)	鈴鹿市民会館